

動物実験に関する検証結果報告書

(福島県立医科大学)

動物実験に関する相互検証プログラム

(国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会)

平成 23 年 1 月 13 日

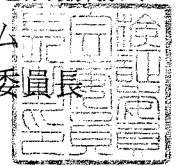


平成 23 年 1 月 13 日

福島県立医科大学学長  
菊地 臣一 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会  
動物実験に関する相互検証プログラム  
検証委員会 委員長



対象機関：福島県立医科大学  
申請年月日：平成 22 年 7 月 1 日  
訪問調査年月日：平成 22 年 11 月 11 日  
調査員：下田 耕治（慶應義塾大学）  
川本 英一（東京医科大学）

#### 検証の総評

医学部および看護学部を有する福島県唯一の医科大学として、医学研究や学生教育に必要な動物実験の管理体制が整備され、適正に動物実験が実施されている。実験動物の飼養保管は中央の施設である実験動物研究施設のほか、2カ所で行われているが、いずれも実験動物管理者の指導の下に適正に管理運営されている。実験動物の管理について、定期的に外部の開業獣医師の指導助言を求めるなど、実験動物福祉体制の向上に努めている姿勢が窺える。教育訓練についても、実技指導を含む複数の教育コースを設け、動物実験実施者や飼養者の要望に適切に対応している。施設の維持管理では、実験動物管理者の創意工夫が至る所に見受けられ、管理状況も良好であるので、今後も、適正な状態を維持されたい。

なお、動物実験結果報告書が実験責任者の転出等により未提出となっている例が見られるので、実験責任者や実験実施者に対する啓発、周知を徹底する方策を検討されたい。